

Marie 社長 服部 理恵さん

全国の中小企業に対して「経済」という切り口で
持続可能な企業を目指すための啓発セミナーを開催

なでしこ力



服部 理恵さん

近年、持続可能な社会を目指して様々な取り組みを打ち出す大手スーパーやメーカーが目立ってきた。地球の自然環境悪化は待ったなしで「今、活動を起こさなければ200年先まで人類は存続しない」と国連も発信している。服部理恵さんが社長を務める Marie（三重県）では、持続可能な（サステナブル）企業を目指すための啓発セミナーを、中小企業に対して「経済」という切り口で行なっている。

(Marie ホームページ <https://www.marie-ss.com>)

Marie の業務の柱は持続可能な経営を目指す企業内セミナーと、人と自然が共生する循環型コミュニティを構築する環境事業の推進。コロナ以降は企業内セミナーに重点を置いてきた。社名、Marie とはフランス語で「結婚」を意味し、人と社会と地球の繋がり「縁」を意味して名付けた。

持続可能な地球を目指し2015年に国連が掲げた17の目標『SDGs』。「流行語のように語られていますが、これはあくまでツールです。200年後の未来にいのちを残すために持続可能な環境を創るには、すぐにアクションを起こし、意識や倫理観を変えていく必要があります。サステナブルな社会を構築するために、SDGsは目指した方がよいのではなく、目指さねばならない目標です」と服部さん。

服部さんが使命感を持って開催している「サステナブルな企業を目指すための啓発セミナー」の対象の多くは中小企業である。今や政府が指針を出し、大企業や大手メーカーがサステナブルな取り組みを次々と打ち出す時代。

しかし「いや、ウチなんか小さな会社に取り組んでも、何をすれば良いかも分からない」と言う中小企業の社長は多い。

現在、環境に取り組む会社は、長期的な成長ができる会社として銀行の融資が受けやすく、国からの補助も出やすいとされる。企業が持続可能な経営を目指し環境問題などに取り組むことは「ESG投資（環境・社会・ガバナンスの視点での投資）対象の企業」として評価が上がり、会社の経済面にもかかわってくる。これをセミナーで解説すると、社長の考え方の変化や方向性が見直しに繋がるという。

「大企業の場合、国の指示に企業が従い社員は上司からの命令に従い動く…となりがちです。しかし中小企業は、サステナブルな社会構築を意識する社長の考え方や理念が、すぐに社員と共有できます。200年後の社会の存続を見据えて社長自らが変わり、自社の軌道を修正していければ、社員一人一人の意識が変わり主体性が出てきます。まずはこの事実をお知らせして何かしらの気づきを得てもらいます」と